

■令和5年度「みんなの空き家事情アレコレお話し会」を開催しました！

日 時：令和5年5月27日（土）午後2時～3時半

場 所：大牟田文化会館3階 第1研修室

参加者：空き家所有者等

人 数：6名

【内容】

●カードゲーム

講師：一般社団法人 住教育推進機構

井上 静夫氏、山城 京子氏

- ・講師2名による進行で、カードゲームが行われました。
- ・地域住民主体で空家対策に取り組む羽山台空家対策プロジェクトの平良氏や、福岡県空き家活用サポートセンター及び筑後市防災安全課の担当者も参加していただきました。



カードゲームのルール

- ・4～6人程度を1つの班とします。（今回は、1班6名としました。）
- ・赤、青、黄のカードを自由に選択します。答えたくないカードは選ばなくてよい。
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。（選択肢があれば、その中から選ぶ）
- ・話を広げます（アドバイスなども聞く）
- ・否定をしません。（他人の意見を聞く）

■参加者のお話より

- ・貸家と実家の2件の空家を片付けたいが、前面の道の通行権問題で処分できない。
- ・地域で隣の人との間を取り持って無償譲渡に取り組んでいるが、ただに近い費用でもらっても解体費用が100～200万かかるため話がダメになることが多い。
- ・売れる土地・家はすぐ売れるが、売れないところは3～4年は売れない。
- ・空家対策でも地域のつながりが大事だが、公民館も世話人になると負担が大きくみんな辞めていく。
- ・少子化で子供も減っている。将来は誰か1人がたくさんの空家を背負っていかなければならないようになるのでは。
- ・空家だけでなく、自宅もある。自宅の将来も考えなければいけない。

【感想】

今回は福岡県空き家活用サポートセンター（通称：イエカツ）主催の「空き家・住まいの終活 無料相談会・セミナー」と同時に開催しました。参加者は相談会やセミナーに参加された空き家所有者の方が多く、空き家所有者のリアルなお悩みから、地域の空家対策まで様々な話が出て盛り上がりしました。講師の専門家からのアドバイスや参加者同士で話したり、他の方の話を聞くことで色んなヒントをもらわれたことと思います。このお話し会が、参加された空き家所有者の方にとって次に進むきっかけとなれば嬉しいです。

<T. N>